

平成30年6月26日(火) 12956号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
大阪市北区天満 2-12-3
ヴィレッジリバー南森町 3階 E号
TEL(06)6353-7831 (代表)
FAX(06)6353-7832

東京支社 〒140-0001
東京都品川区北品川 1-9-7
トップルーム品川 1015
TEL(03)6869-9983 (代表)

E-mail info@nikkankinzoku.co.jp

購読料 6ヵ月 37,800円(税込)
3ヵ月 19,440円(税込)

4月銅電線出荷実績

建設・電販がプラス転換

全体では2か月ぶりプラス

一般社団法人日本電線工業会(伊藤雅彦会長)がまとめた2018年4月の銅電線出荷実績で、出荷数量は前年同月比0.2%増の5万6,659トンだった。前年同月の実績を上回るのは2か月ぶり。一方、出荷額は10.6%増の989億3,100万円だった。

出荷の内外需別では、内需が前年同月比0.1%増の5万5,062トン、輸出は1,597トンで、同5.1%のプラスだった。

主要部門別では、6部門中建設・電販と自動車が増加。内装が主体の建設・電販は3.5%増の2万6,777トン。内需の息切れ感から5か月連続でマイナスが続いていたが、プラス転換した。自動車向けは引き続き堅調で、6.0%増の6,894トン。前年同月比での連続プラス成長は24か月に伸びた。

一方、4月は4部門でマイナス。電気機械は1.1%減の1万2,423トンで、6か月連続のマイナスとなった。その他内需は9.2%、電力は13.3%、通信は9.2%それぞれ減少した。

品種別では、7品種中5品種で前年同月比プラス。数量が最大の電力用電線・ケーブルが1.9%増の2万0,253トン。巻線が0.9%増の1万1,449トン、被覆線が3.4%増の1万0,549トンと堅調だった。一方、マイナスは裸線(21.5%減)と通信用電線・ケーブル(5.1%減)の2品種だった。

金額ベースでみると、主要部門別では裸線を除く6部門でプラス。輸送用電線が9.0%増と好調を維持。電力用電線・ケーブルが13.4%、被覆線が10.3%、巻

18年4月 銅電線出荷実績

部門	数量(トン)	前年同月比(%)	金額(億円)	前年同月比(%)
通信	895	▲9.2	15.48	5.2
電力	3,777	▲13.3	45.55	▲3.8
電気機械	12,423	▲1.1	174.96	10.7
自動車	6,894	6.0	303.26	11.4
建設・電販	26,777	3.5	315.84	11.9
その他内需	4,296	▲9.2	70.32	7.7
内需計	55,062	0.1	925.42	10.2
輸出	1,597	5.1	63.90	15.9
合計	56,659	0.2	989.31	10.6
心線販売	29,989	3.5	226.64	11.1

▲はマイナス

品種	数量(トン)	前年同月比(%)	金額(億円)	前年同月比(%)
裸線	3,794	▲21.5	36.08	▲6.4
巻線	11,449	0.9	123.50	15.0
機器用電線	3,737	9.1	109.75	14.7
通信用電線・ケーブル	1,436	▲5.1	32.47	2.7
電力用電線・ケーブル	20,253	1.9	215.91	13.4
被覆線	10,549	3.4	148.93	10.3
輸送用電線	5,441	1.9	322.67	9.0
合計	56,659	0.2	989.31	10.6

▲はマイナス

線が15.0%、機器用電線が14.7%のそれぞれプラスと価格面で底堅い状況が続いている。裸線は6.4%のマイナスだった。

アルミ電線は、出荷数量・出荷額ともプラス。数量が前年同月比11.1%増の2,529トン。出荷額は19.1%増加し22億0,600万円だった。

東芝・双日・ブラジル社

ニオブチタン系酸化物 リチウムイオン電池向け負極材開発

東芝事業会社の東芝インフラシステムズ（秋葉慎一郎社長）、双日（藤本昌義社長）、ニオブ生産を手掛けるブラジル企業の「カンパニア・ブラジレイラ・メタルジア・イ・ミネラソン」（CBMM、エドゥアルド・リベイロ社長）は、ニオブチタン系酸化物を使った次世代リチウムイオン電池向け負極材の共同開発契約をこのほど締結した。

3社は、電気自動車（EV）用途等に適した高エネルギー密度でかつ急速充電が可能なりチウムイオン電池の材料の開発に取り組む。

東芝は、急速充電性能、長寿命、安全性に優れるチタン酸リチウムを負極材に採用したりチウムイオン電池を2008年から製品化。昨年、ニオブチタン系酸化物を負極材に使い、高容量次世代リチウムイオン電池の試作に成功した。ニオブチタン系酸化物負



共同開発契約の調印式

極は、リチウムイオン電池の負極材として一般的に使用される黒鉛と比較して2倍の素子エネルギー密度を発揮することが確認されている。

CBMMは、ニオブ生産の高い技術力と製品開発力が強み。ニオブは、金属元素の一つ。鉄鋼添加剤として主に高張力鋼、ステンレス鋼などの高級鋼材に用いられ、中でも自動車向け鋼材の軽量化・剛性化には不可欠とされている。また、双日はCBMMの株主であり、CBMMの日本市場向けの総代理店として、安定的な原料供給体制の構築や用途開拓を進めてきたことから、今回の3社協業が実現した。

CBMMと双日が提供する五酸化ニオブを用いて、東芝はニオブチタン系酸化物の電極製作と性能評価を行い、低価格で品質の安定した仕様の確立を目指す。材料サプライチェーンも構築し、2020年度の次世代高容量次世代リチウムイオン電池の量産化を進め、二次電池事業の拡大を目指す。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OGIYAKI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

ペルー南部・ケジャベコ銅鉱山

権益21.9%を追加取得

三菱商事

三菱商事は、ペルー南部に位置するケジャベコ銅鉱山で進める開発プロジェクトについて、共同推進事業者であるアングロアメリカンから21.9%追加取得することで合意したと発表した。三菱商事の持分は40%となる。

同社は、2012年にケジャベコ銅鉱山新規開発プロジェクトで、アングロアメリカンケジャベコの株式18.1%を取得。プロジェクトの開発意思決定がなされることを前提として、このほど5億米ドルで持ち分の追加取得を決めた。追加取得は、関係当局の承認を条

件に2018年度第2四半期の完了を予定している。ケジャベコ銅鉱山は2018年後半から開発に向けた建設を開始し、2022年中の生産開始を予定している。生産開始後の年間平均生産量は約30万トン、マインライフは約30年としている。

ケジャベコ銅鉱山は、銅分換算で約7.5百万トンの埋蔵量が見込まれる世界最大規模の未開発鉱山。同社は、ケジャベコ銅鉱山の高いコスト競争力を見込む。今回の追加取得により、同社の持分生産量は年間約12万トン増加する見通し。



定期購読 6か月 37,800円
外電配信 6か月 45,300円
(消費税込み)

株式会社日刊金属

三菱マテリアル

新国立競技場

スタジアム外周部にスギ材供給

三菱マテリアル（竹内章社長）は、新国立競技場整備事業でスタジアム外周部の軒庇（のきひさし）に使用するスギ材を供給した。

同整備事業では、植栽計画として日照条件や風環境に配慮した樹種を選定し、雨の掛かりが期待できる外周部に配置するとしている。

同社は、北海道を中心に全国31カ所、総面積約14,500haの森林を保有。元は、自社の鉱山や炭鉱の坑道を支える木材を供給する目的で森林を保有していたが、国内の各鉱山や炭鉱が閉山したことから、森林に求められる新たな役割と活用方法を検討してきた。

同社は、「三菱マテリアルの森が日本の森をリ-

ードする」ことを目標に、再生可能な資源としての木材の生産、市民向けレクリエーション場所の提供、CO2固定による地球温暖化の防止、生物多様性の保全など、森林の持つ多様な公益的機能を発揮するため、持続可能な森林経営の実現を目指している。一連の取り組みは、2012年と2015年に（一社）緑の循環認証会議より森林認証を取得している。

弊誌収録サイトのアドレスが変わりました。

既刊号も順次収録してまいります。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



INMCO インド：国営アルミニウムNALCO、生産増強及び新規事業計画を公表

2018年5月27日付地元メディアによると、インド・国営アルミニウム企業National Aluminium社（NALCO）は既存製錬所等を増強するほか、新規事業を開始する計画を公表した。本計画では4年間で3,000億インドルピー（約5,370億円）を超える投資が予定されている。

具体的には、インド東部オディシャ州アングルのアルミニウム製錬所及びダマンジョディのアルミナ精錬所の設備を増強する。前者は年産能力60万t増のために約900億ルピー、後者は年間処理能力100万t増のために554億ルピーを投資すること。また新規事業としては、西部グジャラート州で苛性ソーダ工場、南部タミル・ナド州で風力発電所の建設を進めている。

なお、同社の2018/19年度（4～3月）はフル稼働と最適化により生産目標をアルミニウム41.5万t、アルミナ210万tにおいている。

海外委託売買高比率

5月は過去最高を記録

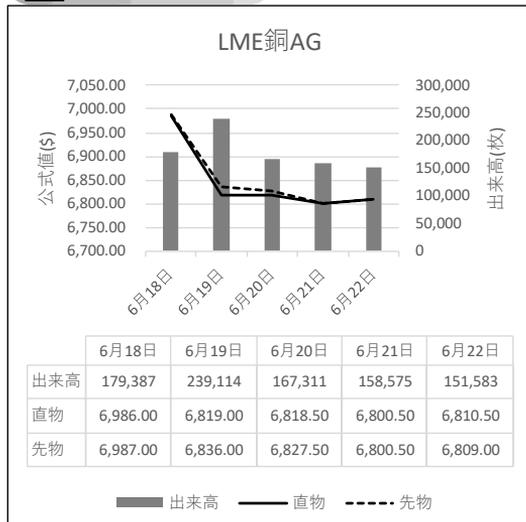
TOCOM

東京商品取引所（濱田隆道社長）は、商品先物の海外からの委託売買比率が2018年5月に過去最高となったと発表した。

5月全体の売買高は、396万4,148枚。うち、海外からの委託売買高は212万0,480枚となった。

これまでの最高は、16年11月の52.9%。海外委託売買比率は、16年以降概ね50%前後で推移している。

LME公式値週間推移 6月18日～6月22日（現地）



故銅市況

前週末23日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,801.00ドルより10.00ドル高の6,811.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,803.00ドルより21.00ドル安の6,782.00ドル。カーブ取引は前日の6,786.00ドル～6,787.00ドルより2.00ドル高の6,788.00ドル～6,789.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（6月限）は、前日の302.50セントより0.75セント高の303.25セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（7月限）は、前日の5万1,620元より50元安の5万1,570元。

週明け25日の東京為替市場TTSレートは、前週末の111.05円より0.36円の円高ドル安の1ドル＝110.69円。NYカーブLME先物比は21.50ドル高。23日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,811.00ドル。この値と25日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の79万5,000円より2,000円安の79万3,000円。この日、電気銅建値は79万円に据え置かれた。

為替動向

25日の午前の東京外国為替市場で、円相場は上昇した。午前9時の気配値は1ドル＝109.92円～109.95円、前週22日の17時時点に比べ0.23円の円高・ドル安。

前週22日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が646～651、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは627～632、並銅は566～571、込銅（高品位＝約97%）は526、セパは530～535。コーペルは要り用筋で521、それ以外は513ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋516、それ以外499～524どころの値頃。並青銅鋳物削粉は489～494どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が649～654、上銅新くずが616～636、普通上銅が583～593、2号銅線が589～599、並銅が554～555、込銅（90-93%）が513～480、下銅が366～416、セパが497～507、コーペルが453～493、黄銅棒地が509～514、黄銅削粉が457～504、黄銅ラジが387～395、交叉ラジが370～381、黄銅銅鋳物が386～393、送りが240～255、上青銅鋳物が499～515、並青銅鋳物が491～504、上青銅鋳物削粉が496～515、並青銅鋳物削粉が489～493どころ。

ドル＝109.80円～109.90円、前日の同時刻比0.10円の円安・ドル高だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.02円の円安・ドル高、1ドル＝109.93円～110.03円で取引を終了した。

米中間に加え米欧間の貿易摩擦への懸念が浮上した。欧州連合（EU）は対米制裁措置を22日に発動。これに対し、米トランプ大統領は、欧州から米国に輸入されるすべての自動車に20%の関税を課すとツイッターに投稿し、世界経済に悪影響が広がるとの懸念から、低リスク通貨とされる円が買われる場面があった。一方、原油先物相場が上昇、米株式市場も上げ幅を拡大し、投資家がリスクを取りやすい環境となったことを受け、ドル買いが進んだ。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、109.80円～110.19円だった。

週明けの東京外国為替市場は、米国の保護主義拡大に対する警戒感から、円買い・ドル売りが先行した。午前の取引で、円は109円台半ばを試す展開となっている。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等

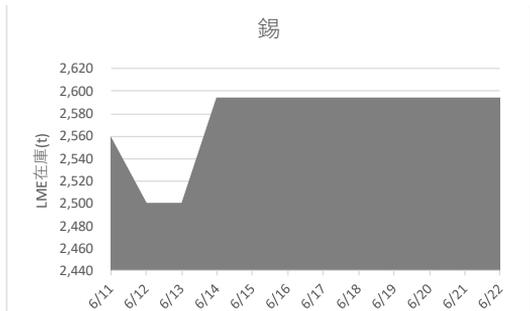
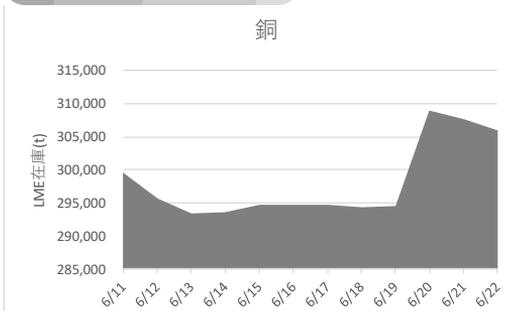


角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

LME認定倉庫在庫量推移 2018年6月11日～22日（現地）





LME銅先物は小反発 この1週間でおよそ5%安
 カーブ取引は小幅で続伸 COMEX銅相場は小幅反発 SHFE相場は小幅続落
LME非鉄相場は地合やや好転も値動きは小幅 米通商問題に市場の懸念続く
亜鉛は続落、この週6~7%下げ 鉛は6営業日ぶり、アルミ先物は8営業日ぶり反発
錫、ニッケルは3営業日の続伸

23日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,800.50ドルより10.00ドル高の6,810.50ドル、この週4.55%の下落。3か月物も、前日の6,800.50ドルより8.50ドル高の6,809.00ドル、この週4.66%の下落。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の30万8,000トンより約2,000トン減の約30万6,000トン、この週3.83%の増。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（6月限）は、前日の302.50セントより0.75セント高の303.25セント、この週10.85セントの下落。カーブ取引は、前日の6,786.00ドル～6,787.00ドルより2.00ドル高の6,788.00ドル～6,789.00ドル、この週3.30%の下落。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（7月限）は、前日の5万1,620元より50元安の5万1,570元、この週2.86%の上伸。

錫は続伸

LME錫相場の直物は、前日の2万0,595.00ドルより17.50ドル高の2万0,612.50ドル、この週1.32%の下落。3か月物も、前日の2万0,537.50ドルより25.00ドル高の2万0,562.50ドル、この週0.95%の下落。

鉛は反発

LME鉛相場の直物は、前日の2,384.00ドルより4.75ドル高の2,388.75ドル、この週1.72%の下落。3か月物も、前日の2,398.00ドルより4.50ドル高の2,402.50ドル、この週1.63%の下落。

亜鉛は続落

LME亜鉛相場の直物は、前日の3,021.25ドルより29.25ドル安の2,992.00ドル、この週6.16%の下落。3か月物も、前日の2,965.25ドルより34.75ドル安の2,930.50ドル、この週6.95%の下落。

アルミはまちまち アルミ合金は下落 北米特殊アルミ合金はまちまち

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,166.50ドルより0.75ドル安の2,165.75ドル、この週3.27%の下落。3か月物も、前日の2,165.50ドルより6.00ドル高の2,171.50ドル、この週2.71%の下落。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,760.00ドルより10.00ドル安の1,750.00ドル、この週5.42%の上伸。3か月物も、横ばいの1,755.00ドル、この週1.74%の上伸。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(6月後半)

2S=208円～216円、63S=205円～209円、アルミホイール(1P)=198円～203円、ビス付サッシ=151円～156円、エンジンコロ=158円～160円、込合金(機械鋳物)=154円～156円、缶プレス(ソフト)=191円～136円。

関西地区(6月後半)

2S=203円～211円、63S=201円～205円、52S=213円～217円、印刷版=204円～209円、アルミホイール(1P)=187円～192円、ベースメタル=211円～216円、機械鋳物=158円～163円、ドライ粉=130円～135円、ビス付サッシ=153円～158円、缶プレス=139円～144円。

LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,727.50ドルより2.00ドル安の1,725.50ドル、この週1.39%の下落。3か月物も、前日の1,752.50ドルから横ばいの1,752.50ドル、この週1.41%の下落。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ113万1,000トンより約3,000トン減のおよそ112万8,000トン、この週1.25%の減。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の直物は、前日の14,975.00ドルより277.50ドル高の15,252.50ドル、この週0.07%の下落。3か月物も、前日の15,055.00ドルより267.50ドル高の15,322.50ドル、この週0.11%の下落。

非鉄金属全般
銅 滓・新棒コロ
誠実対応の高田商店
代表者 高田才吉
〒544-0001 大阪市生野区新今里7丁目11-11
☎ 06-6753-1643
FAX 06-6753-4545

LME公式値(単位:ドル) / 6月22日(現地)

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	6,810.50	20,612.50	2,388.75	2,992.00	2,165.75	1,750.00	1,725.50	15,252.50
	前営業日比	10.00	17.50	4.75	▲ 29.25	▲ 0.75	▲ 10.00	▲ 2.00	277.50
	週間増減比	▲ 4.55%	▲ 1.32%	▲ 1.72%	▲ 6.16%	▲ 3.27%	5.42%	▲ 1.39%	▲ 0.07%
先物	公式値	6,809.00	20,562.50	2,402.50	2,930.50	2,171.50	1,755.00	1,752.50	15,322.50
	前営業日比	8.50	25.00	4.50	▲ 34.75	6.00	▲ 10.00	0.00	267.50
	週間増減比	▲ 4.66%	▲ 0.95%	▲ 1.63%	▲ 6.95%	▲ 2.71%	1.74%	▲ 1.41%	▲ 0.11%

海外非鉄金属相場

(6月23日 入電・現地 6月22日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅A G, 錫H G, 鉛, 亜鉛S H G, アルミH G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

NY COMEX 相場 table with columns for metal types (銅H G, 金, 銀, プラチナ, パラジウム) and rows for various contract months (6月限 to 10月限) and daily price changes.

採算価格 table with columns for metal types (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) and rows for different price bases (LME, COMEX, 上海).

Table for Free Market (フリー・マーケット) and NY Market (NY相場) prices, including London Market (ロンドン相場) prices in dollars.

Table for K L T M Tin (K L T M 錫) prices in dollars and kilograms, including exchange rates and local prices.

L M E 在庫 (トン) table showing inventory levels for various metals (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊A L 合金, ニッケル) with current and change columns.

Table for COMEX Copper Inventory (COMEX 銅在庫) and Shanghai Inventory (上海在庫) for copper, aluminum, and lead.

NY カーブ table showing NY futures curves for copper and aluminum.

上海相場 table showing Shanghai market prices for copper, aluminum, lead, and tin, including monthly limits and daily price changes.

Table for Shanghai Market (上海相場) prices in dollars and yen, including exchange rates and price changes.

